



ドクター和の

# ニッポン 臨終図巻

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東大第2期卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で「人を診る」総合診療を始める。在宅医療まで目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

出血になります。

脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血

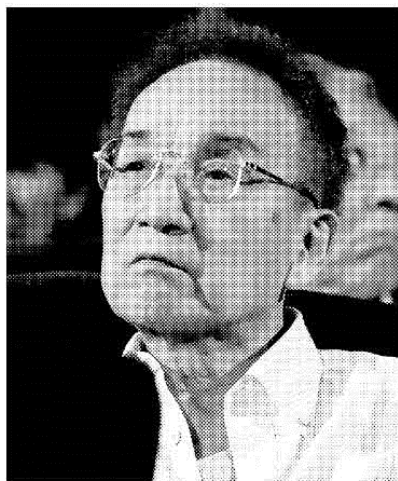
この1週間、この方のニュースをたくさん目にしたと思いますが、やはり今週は、この方について書かないわけにはいかないでしょう。

ジャニーズ事務所社長・ジャニー喜多川さんが7月9日、都内の病院で亡くなりました。享年87。死因は解離性脳動脈瘤(りゅう)破裂によるくも膜下出血との発表でした。

ジャニーさんが体調の異変を訴えたのは、6月18日のこと。病院に向かおうとしたところで意識を失い、救急車を呼んだそうです。搬送後すぐに集中治療室へ。

解離性脳動脈瘤とは、脳を走る動脈の一番内側の壁の膜が裂け、中膜との間に血液が流れ込んでできた瘤(こぶ)のこと。このコブが破裂するとクモ膜下

## 114 ジャニーズ事務所社長 ジャニー喜多川



などをあわせて「脳卒中」または「脳血管疾患」と呼びます。厚生労働省が発表した2018年のわが国の死因統計によれば1位が心臓病、2位心疾患、3位老衰に次いで4位となっており、年間約11万人が亡くなっています。特にクモ膜下出血は、予後の

悪い疾患です。発症後1カ月以内に3割の人が亡くなるというデータもあります。たとえ治療して一度回復しても、やはり1カ月以内に約半数の人が再出血してしまいさらに予後が悪くなる人も。

ジャニーさんは87歳と高齢でしたが男性の場合、40〜50代の働き盛りでもクモ膜下出血を発症する人は多くいます。今まで経験したことのないような激しい頭痛や吐き気を覚えたら、どうかためわらずに救急車を呼んでください。一刻を争うこともあるのです。

事務所の発表によれば、ジャニーさんは集中治療室での治療の甲斐あって、一般病棟に移ることができたとのこと。この意味は本

事に大きかったと思います。救急車で集中治療室に運ばれて、そのまま息絶える人も多くいるから

です。その場合は面会謝絶となつてしまいます。ジャニーさんは、一般病棟に移ったことにより、今まで育ててきた「愛すべき子供たち」と面会を果たすことができた。代わる代わる「子供たち」が駆け付け、ジャニーさんに話しかけ、体を摩り、病室にはいつも誰かの曲が流れていた。なんと幸福な最期だったことでしょうか。この話を聞いて、家族ってなんだろう？と改めて考えています。血のつながった子供がたくさんいても、お金をたくさん持っていて、寂しい最期を迎える人がいます。「……そろそろです」と家族に電話しても、「行けたら行きますが、そちらでどうにかしといて!」と素っ気なく切られることも時々あります。

血のつながりという関係性は薄まる一方の世の中かもしれないね。間違いなく日本一の子供さんだったジャニーさんの家族葬は、事務所の稽古場で行われたそうです。

# 「子供たち」に囲まれ…幸福な最期